

佐野市景況レポート

平成30年1～3月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

仕入価格の上昇・人材不足を背景に業況悪化

【平成30年1～3月期 実績】

全業種業況DI指数は▲14.5、前期（12月期）比▲4.8ポイントの業況悪化となりました。利益DI指数は▲23.1（前期比▲2.4）、売上高DI指数は▲12.1（前期比▲3.1）と、利益、売上高のポイント低下が業況悪化に繋がりました。また、製品・商品在庫DI指数は▲1.5（前期比▲2.0）と過去10年間で最も在庫が低下しました。一方、原材料・仕入価格全業種DI指数は+34.9（前期比+4.2）と9期連続（H27.10～H30.3）の上昇になりました。また、労働力全業種DI指数は▲27.6（前期比▲6.2）と労働力不足の指数を再更新し、人材不足感は強まる一方です。今回の業況悪化の背景には、仕入価格の上昇と労働力不足があると言えます。

【平成30年4～6月期 見通し】

全業種業況DI指数は▲17.5（前期比▲2.5）と、今後3か月間の業況悪化を予想しています。売上高DI指数は▲15.0（前期比▲5.8）、仕入価格DI指数は+29.3（前期+10.4）、販売価格DI指数は+0.5（前期比+6.6）です。平成30年4～6月期の見通しは、販売価格は上昇しますが、売上高の減少、仕入価格の大幅な上昇より業況悪化を予想しています。

【事業所等の景況コメント】

景況に関するコメントには、「原材料・仕入価格の上昇」、「人材不足・採用難」が多く挙げられました。その中で、新事業進出のコメントがありました。今までと同じ改善策を実行し効果がなければ、別の改善・経営革新等の経営環境変化への積極的な対応が必要です。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績（平成30年1～3月期）		見通し（平成30年4～6月期）	
業 況	▲14.5		▲17.5	
売 上 高	▲12.1		▲15.0	
販 売 価 格	▲2.5		0.5	
仕 入 価 格	34.9		29.3	
労 働 力	▲27.6		—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格はDI値
をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（平成 30 年 1～3 月期実績）

天気図



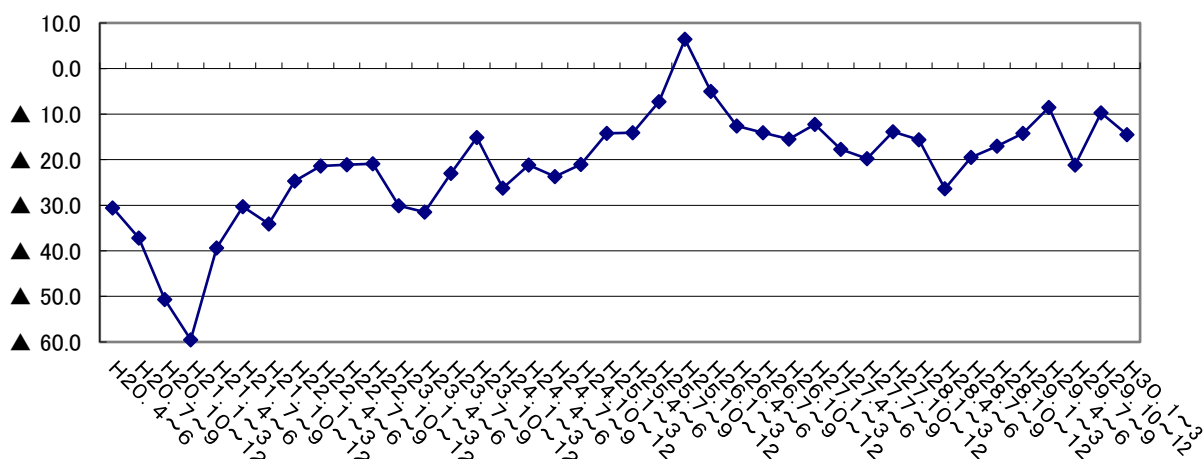
全業種 DI 指数▲14.5、前期比 4.8 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業 27.3 ポイント、②化学・プラスチック製造業 0.0 ポイント、③建設業▲7.7 ポイント、④繊維品製造業▲9.1 ポイント、⑤卸売業▲9.7 ポイント

良い
↑
悪い

業況(全体)



☆ 売上高について（平成 30 年 1～3 月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲12.1、前期比 3.1 ポイント低下

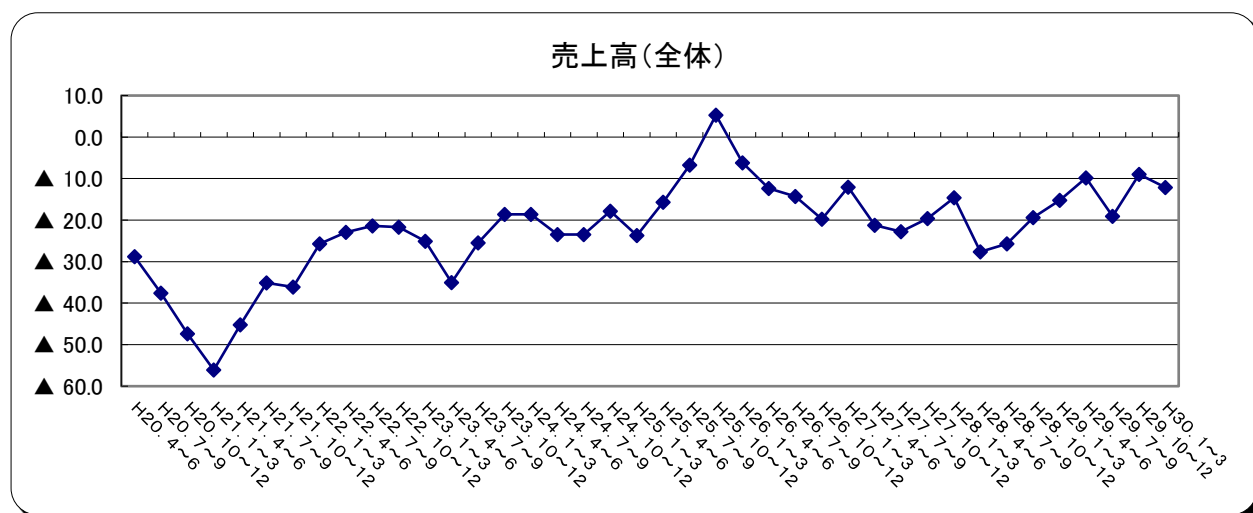
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 14.3 ポイント、②建設業 0.0 ポイント、③飲食店▲4.9 ポイント、
④サービス業▲6.7 ポイント、⑤機械・金属製造業▲8.1 ポイント

増加



減少



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（平成 30 年 1～3 月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲2.5、前期比 1.0 ポイント上昇

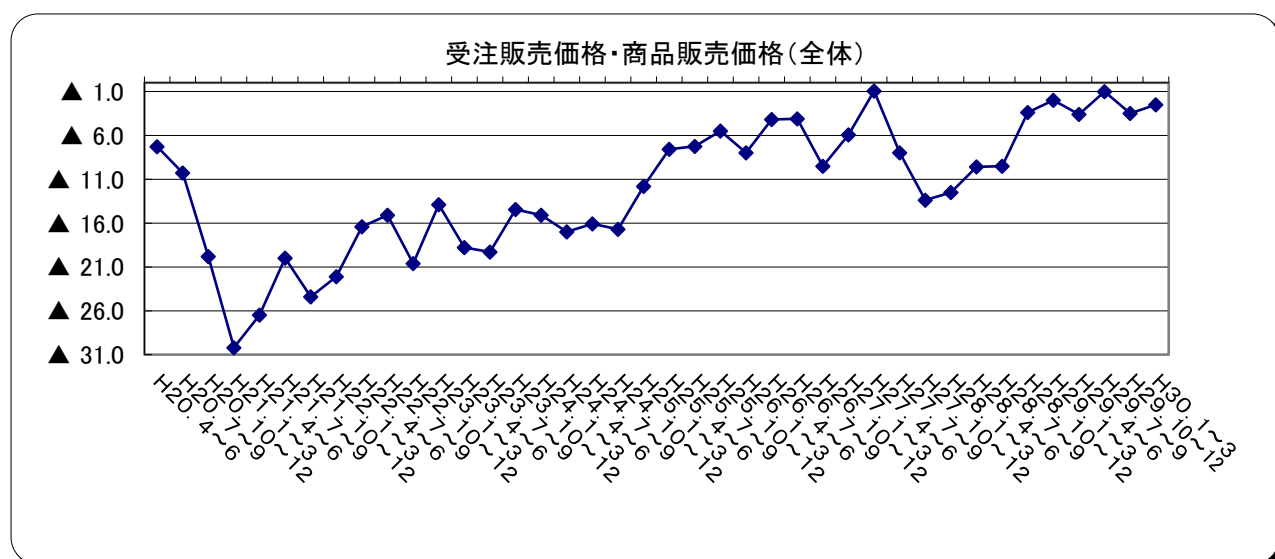
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①設備業及び食品製造業、その他の製造業、卸売業、小売業（飲・食料品）、その他の小売業（大型店含む）、サービス業 0.0 ポイント

上昇



下落



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（平成 30 年 1～3 月期実績）

天気図



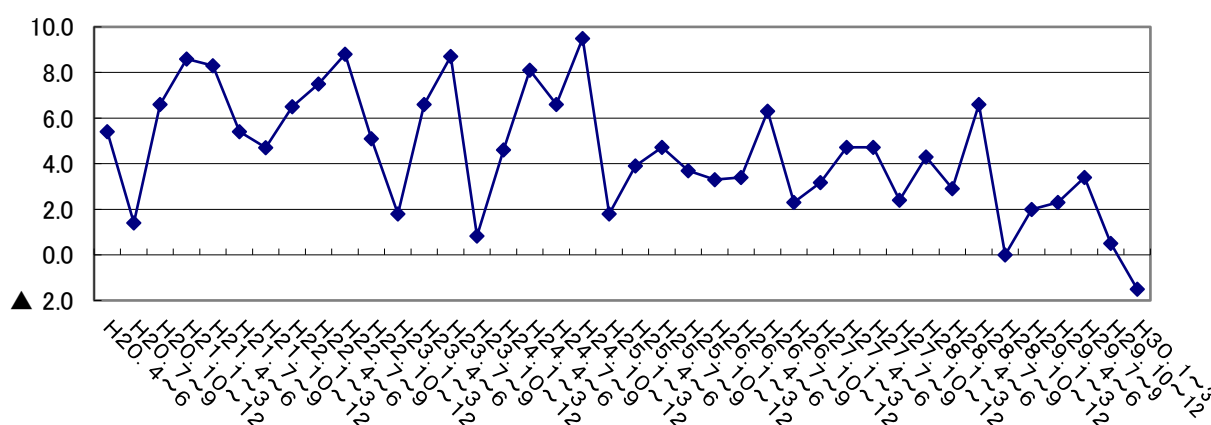
全業種 DI 指数▲1.5、前期比 2.0 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①化学・プラスチック製造業 15.8 ポイント、②卸売業 10.3 ポイント、③小売業（飲・食料品）9.7 ポイント、④機械・金属製造業 4.0 ポイント、⑤建設業及び設備業、その他の小売業（大型店含む）0.0 ポイント

過大
↑
↓
不足

製品（材料）・商品在庫（全体）



☆ 利益状況について（平成 30 年 1～3 月期実績）

天気図



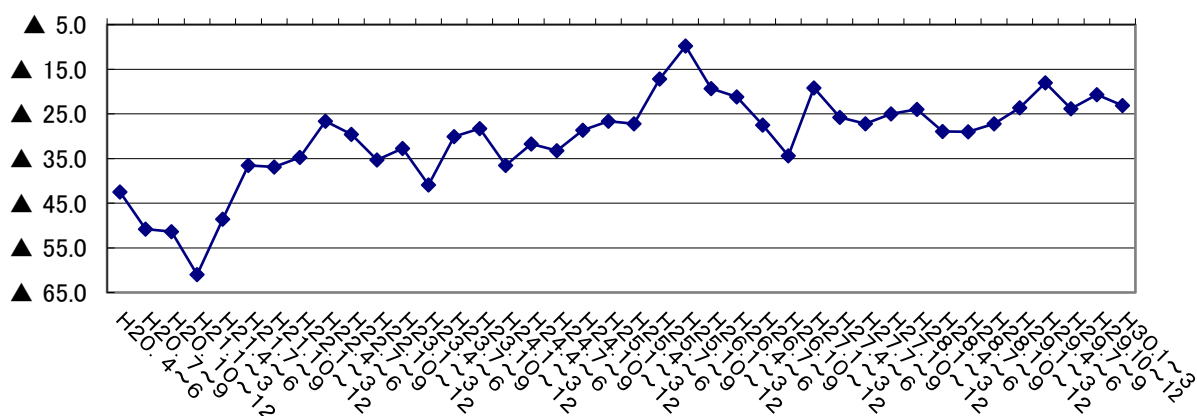
全業種 DI 指数▲23.1、前期比 2.4 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業及び卸売業 0.0 ポイント、③建設業▲7.7 ポイント、④繊維品製造業▲9.1 ポイント、⑤機械・金属製造業▲12.7 ポイント

増加
↑
↓
減少

利益状況（全体）



☆ 資金繰りについて（平成 30 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数▲14.5、前期比 0.9 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 13.0 ポイント、②卸売業 9.7 ポイント、③設備業 7.3 ポイント、④建設業 0.0 ポイント、⑤機械・金属製造業▲7.9 ポイント

天気図

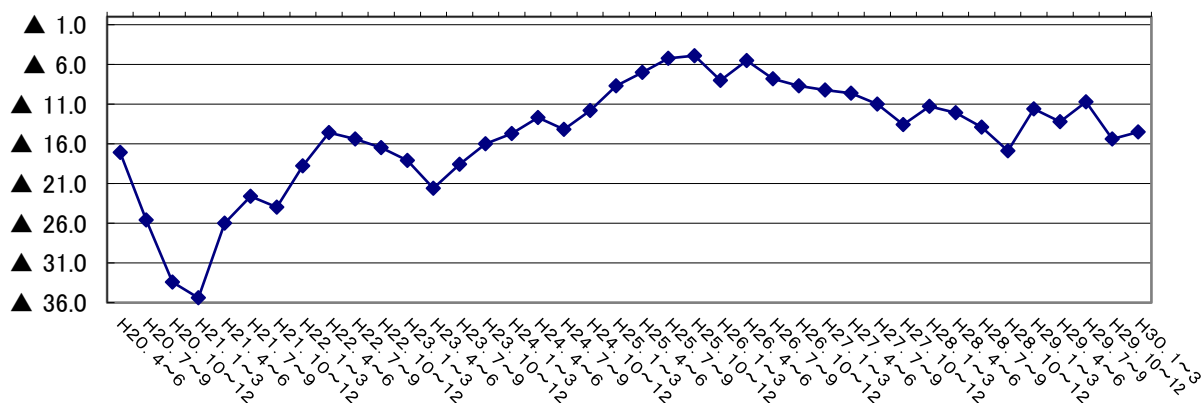


楽



苦しい

資金繰り(全体)



☆ 労働力について（平成 30 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数▲27.6、前期比 6.2 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①卸売業▲11.1 ポイント、②その他の製造業▲13.0 ポイント、③繊維品製造業▲18.8 ポイント、④機械・金属製造業▲20.5 ポイント、⑤飲食店▲22.4 ポイント

天気図

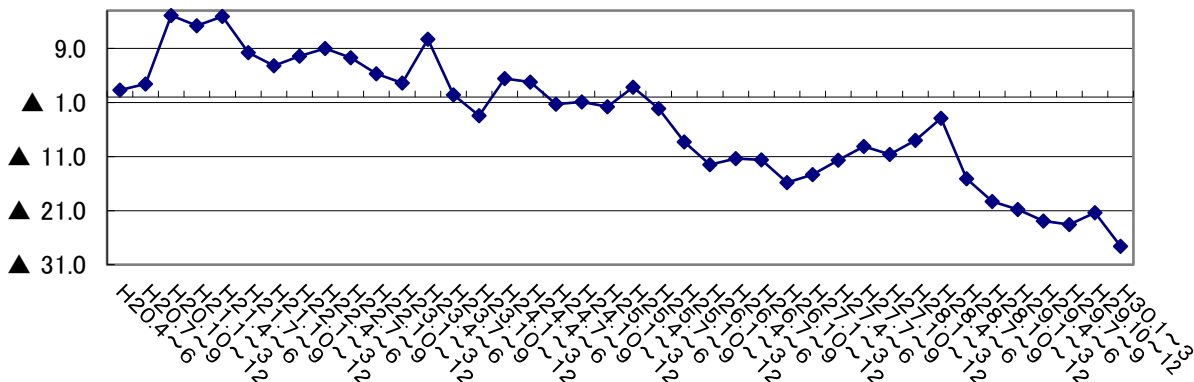


過剰



不足

労働力(全体)



☆ 設備稼働率について（平成 30 年 1～3 月期実績） （建設・設備・製造業関係）

天気図



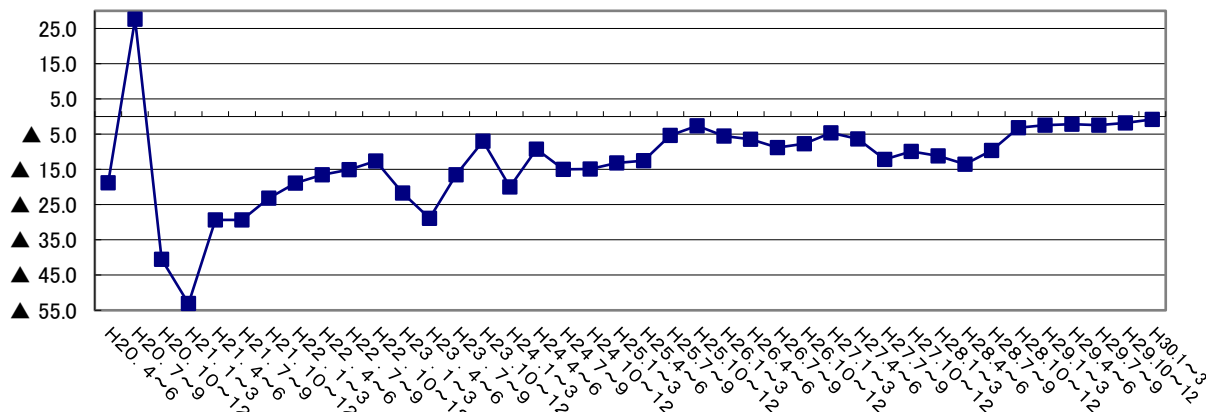
全業種 DI 指数▲0.8、前期比 1.0 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業 27.3 ポイント、②繊維品製造業 0.0 ポイント、③機械・金属製造業
及び化学・プラスチック製造業▲4.0 ポイント、⑤設備業▲6.7 ポイント

高い
↑
↓
低い

設備稼働率（建設・設備・製造業）



☆ 販売経費について（平成 30 年 1～3 月期実績） （商業・サービス業関係）

天気図



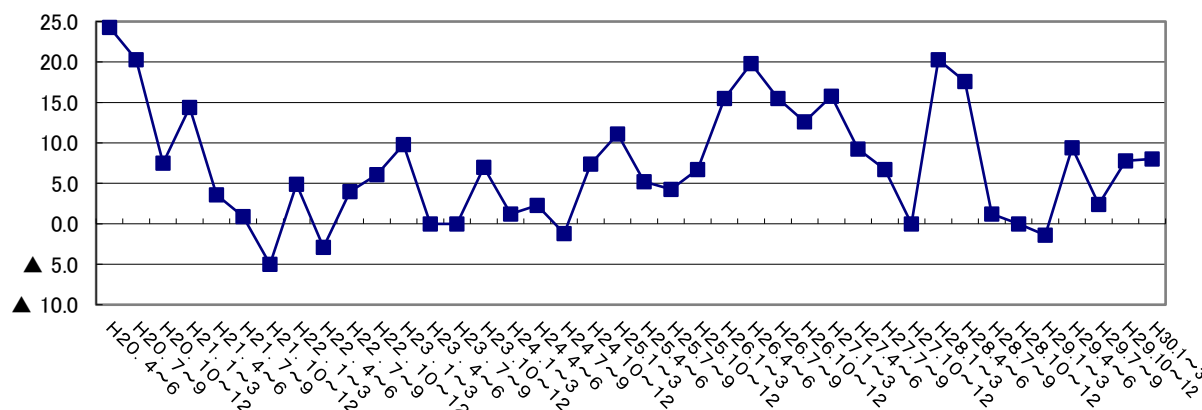
全業種 DI 指数 8.0、前期 0.2 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①小売業（飲・食料品）31.0 ポイント、②卸売業 20.0 ポイント、③サービス業 19.1
ポイント、④飲食店 4.6 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲16.4 ポイント

増加
↑
↓
減少

販売経費（商業・サービス業）



☆ 今後3ヶ月先（平成30年4～6月期の見通し）の業況について

天気図



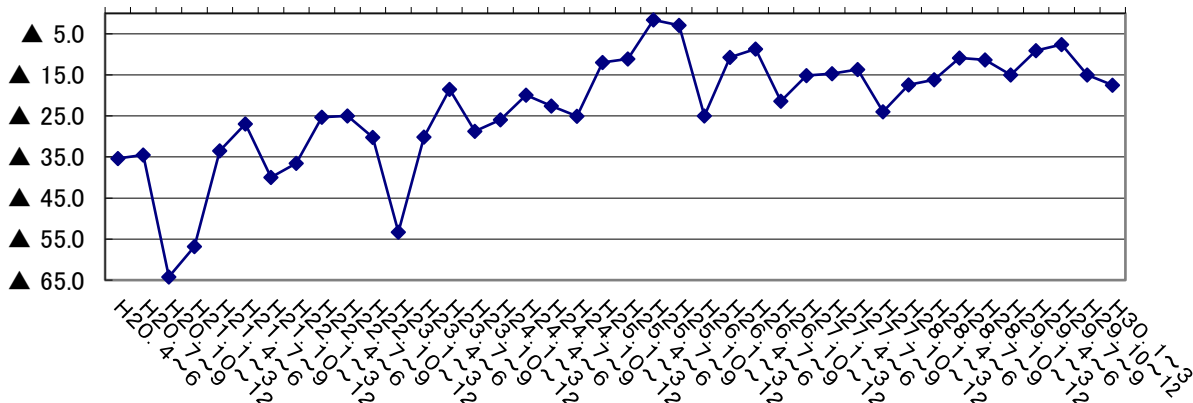
全業種 DI 指数▲17.5、前期比 2.5 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業 4.1 ポイント、②その他の製造業 0.0 ポイント、③化学・プラスチック製造業▲8.1 ポイント、④繊維品製造業▲9.1 ポイント、⑤卸売業及び小売業（飲・食料品）▲10.3 ポイント

良い
↑
悪い

業況予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（平成30年4～6月期の見通し）の売上高について

天気図



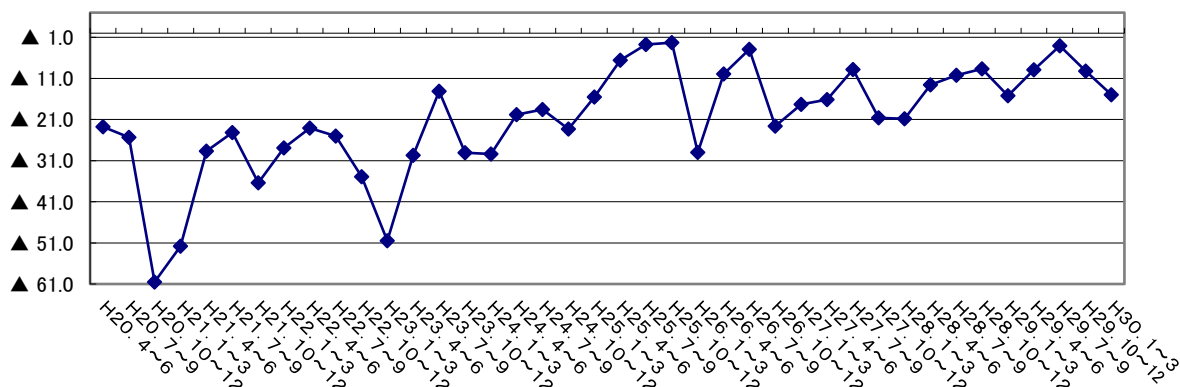
全業種 DI 指数▲15.0、前期比 5.8 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業 25.0 ポイント、②小売業（飲・食料品）0.0 ポイント、③繊維品製造業▲9.1 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲12.7 ポイント、⑤その他の製造業▲14.3 ポイント

良い
↑
悪い

売上高予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（平成30年4～6月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種 DI 指数 29.3、前期比 10.4 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業 48.4 ポイント、②その他の製造業 42.9 ポイント、③飲食店 35.6 ポイント、④機械・金属製造業及び化学・プラスチック製造業 33.3 ポイント

天気図

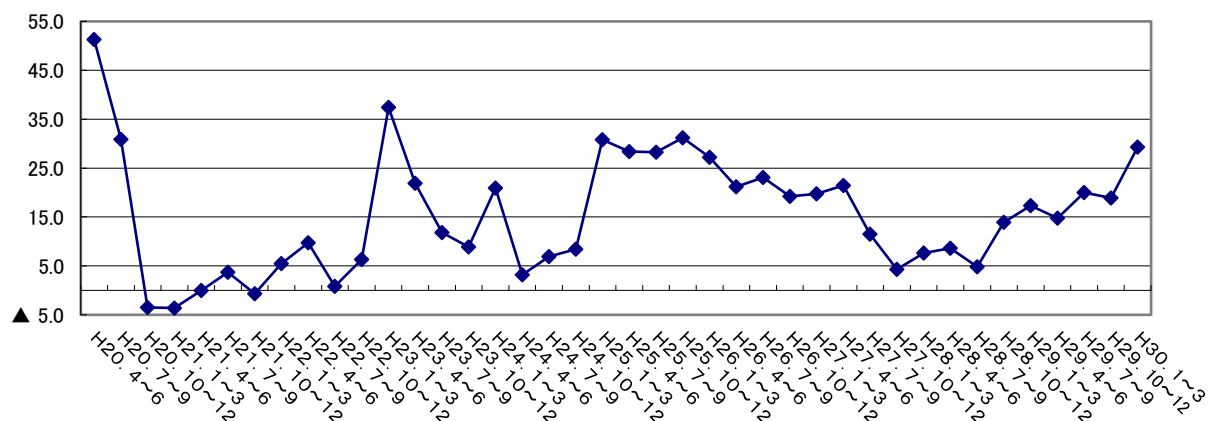


上昇



下落

原材料仕入価格・仕入価格予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（平成30年4～6月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

全業種 DI 指数 0.5、前期比 6.6 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 27.3 ポイント、②その他の小売業（大型店含む） 9.7 ポイント、③機械・金属製造業 7.9 ポイント、④サービス業 6.1 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 4.0 ポイント

天気図

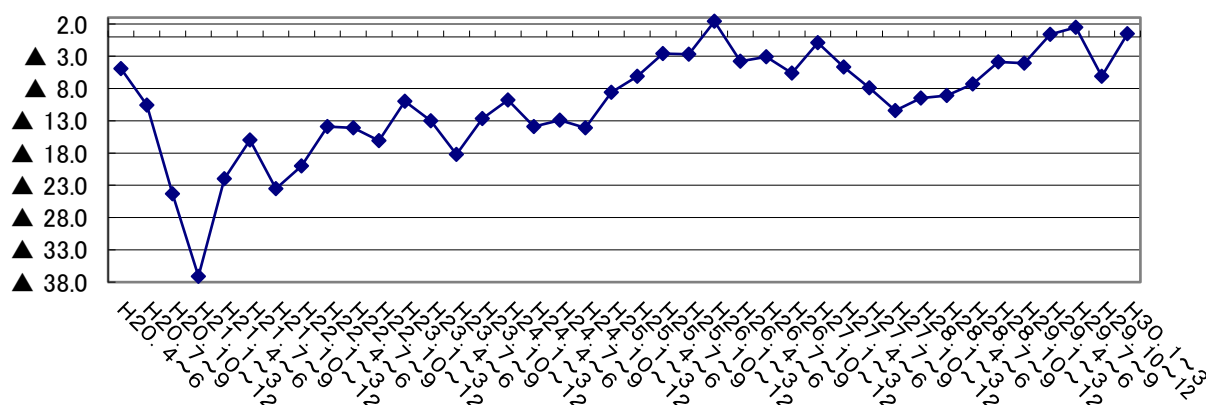


上昇



下落

受注販売価格・商品販売価格予想(全体)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・コメントなし。

設備工事業

- ・募集しても、人が集まりません。求人広告を出しても、同じです。

繊維品製造業

- ・相変わらずの人手不足です。
- ・足元はしっかりしていますが、先行きは不透明です。
- ・仕入価格が徐々に上昇しているのが、これから不安になる。

食品製造業

- ・街中にイベントがあると、活気が出て賑わいますね。業況は今ひとつですが、踏んばって、がんばるしかないです。
- ・財務省があんな状況で日本は本当に景気良くなるのでしょうか？
- ・今回コメントなし。
- ・為替が円高なので良い。

機械・金属製品製造業

- ・鉄鋼需要は旺盛なるも生産能力増産に苦慮している現況。
- ・直近3ヶ年で定年を迎える社員が20人となり、次の世代の人員確保のため、人員募集しているが集まらない状況である。
- ・求人バブルどこまで？
- ・素材（銅・アルミ）の値上がりが売価に反映できず、苦しい状況が続いている。加えて4月頃から鉄も値上げ傾向とのことで売価へ早急に転嫁を図っていくことが必要である。
- ・建築部材について注文が多くなると期待しています。オリンピック景気の現実味が増すことを期待します。
- ・東日本災害からまる7年！！復興にはほど遠く、3/11だけメディアに特集されているが、もう少し被災地に目を向けてほしいと思います。

化学・プラスチック製品製造業

- ・客先年度末3月末は集中しているが先の物件が不透明で受注残が少ない。今後の動向が現状の政治もたつき影響でるのが心配。
- ・化学品の原材料の上昇が上期中は続く見通し。
- ・プラスチック原料上昇のみ。
- ・今は従業員はいません。
- ・プラスチック原料の値上げの動きあり。

その他製造業

- ・資材の高騰で仕入が上昇。販売単価はそのままと言う状況。受注は多いので売上げは伸びているが、人件費と仕入が上昇し利益は伸びない。デフレ脱却感はない。
- ・先が見えにくい状態が続いているが、当社としてはまずまず良い状態である。

卸売業

- ・新しい事業を考えていこうと思うので、相談にのってもらいたい。

小売業（飲・食料品）

- ・去年の夏の天候不順、原材料の高騰に継り値上の時期をさぐっている状態です。
- ・相変わらず野菜の高値続きの為厳しいです。
- ・1月、2月の売上は、例年通り悪い。3月はやや上昇する。今後3ヶ月は、希望的に見て②につけた。

その他の小売業（大型店含む）

- ・年度末の需要が多い。景気回復のきざしがみうけられる。
- ・1月はプレミアム付福袋で良かったが、2月はガタッと減少、3月は出足は現況は良い。
- ・①仕入が上って販売価格が現状維持ですので全然利益が少ないのです
- ・4月より薬価基準引き下げによる利益減少が予想されるので、在庫等減少により推移を見る事とした。
- ・もうこの辺で景況調査終りにして下さい！

飲食店

- ・毎年5月大型連休のみ佐野駅周辺は混雑しますが、イベントの日はまったくお客入がありません。イベントに何の意味があるのでしょうか？いつもギモンです。
- ・1～3月は、一年のうちで一番売上の良い時期ですので、良かったと思います。
- ・なんとなく感じる程度ですが、景気が上向いているようだ。これが継続して本格的な景気上昇になればよいですね。

サービス業

- ・スマートフォンの普及がかなり進み、写真（DP）にする人がかなり減り、写真店は経営難です。
- ・佐野市内の住宅用地のニーズは1月から動き始めた。ただし、安い土地にニーズが集中する傾向があり、更なる不動産相場下落が予想されます。
- ・仕事量が多いが、労働力が確保出来ない（募集しても来ない）為、仕事がこなせない。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成30年1月～3月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、191社（回答率65.8%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所